

令和3年11月1日

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
会長 渡邊 健二 殿

業務実績評価委員会
委員長 苦瀬 博仁

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
令和2年度業務実績評価について

業務実績評価委員会に関する規程第5条第2項（平成17年5月24日規程第1号）に基づき、陸上貨物運送事業労働災害防止協会の令和2年度業務実績評価について、別紙陸上貨物運送事業労働災害防止協会業務実績評価報告書のとおり報告します。

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
令和2年度業務実績評価報告書

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
業務実績評価委員会

1 審議経過

当委員会は、令和3年8月25日開催の委員会において、陸上貨物運送事業労働災害防止協会が令和2年度に実施した事業について、業務実績評価実施要領に基づき、関係資料により、業務実績評価に係る審議を行った。

2 評価内容

評価結果は、別添の評価表のとおりである。

3 意見

令和2年度の業務実績評価に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響についても考慮の上評価したものである。

今後の事業運営に当たっては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえることはもとより、それを前提とした新たな事業運営のあり方や手法をさらに検討し、現状に即した、より効果ある事業展開が図られることを希望する。

(関係資料)

- 1 令和2年度事業の実施状況及び評価（令和2年4月～令和3年3月）
- 2 令和2年度 事業報告
- 3 令和2年度 収支計算書
- 4 労働災害発生状況（令和2年1月～12月確定値）

令和2年度 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 業務実績評価表

評価事項		評価結果				
		A	B	C	D	E
数値目標達成度	1 死亡者数	○				
	2 死傷者数					○
	3 安全管理士等の支援 集団指導				○	
	4 安全管理士等の支援 個別指導				○	
	5 図書頒布・販売					○
数値目標についての総合評価					◎	
重点事項達成度	I 事業場の安全衛生水準向上の取組の推進					
	1 陸上貨物運送事業労働災害防止計画の推進			○		
	2 陸上貨物運送事業労働災害防止規程の周知と遵守の徹底			○		
	3 安全衛生水準向上の取組			○		
	【評価】			◎		
	II 荷役運搬作業の安全の確保					
	1 荷役運搬作業中の災害防止の指導援助			○		
	2 フォークリフト等による労働災害防止の徹底			○		
	【評価】			◎		
	III 交通労働災害防止対策の推進					
	1 交通労働災害防止ガイドラインに基づく取組の推進			○		
	【評価】			◎		
	IV 健康の保持増進対策の推進					
	1 一般健康管理・過重労働による健康障害防止・メンタルヘルス・腰痛予防対策等			○		
	【評価】			◎		
	V 安全衛生教育の徹底					
	1 安全衛生教育の実施			○		
	2 安全衛生教育用テキスト等の作成・頒布			○		
	【評価】			◎		
	VI 安全衛生意識の高揚					
	1 各種行事、活動等の実施		○			
	2 安全衛生広報用品の作成・頒布				○	
	3 広報活動の充実強化	○				
	【評価】		◎			
	VII 調査研究活動					
	1 労働災害防止のための調査研究活動等の推進			○		
	【評価】			◎		
重点事項についての総合評価				◎		

(注) 評価段階 【数値目標達成度】
 A：目標を大幅に上回った B：目標をやや上回った C：目標どおり
 D：目標をやや下回った E：目標を大幅に下回った

【重点事項達成度】
 A：事業実施の結果、計画を上回る成果が得られた
 B：創意工夫した手法を用いるなど、より効果的な事業を実施できた
 C：計画どおりに事業を実施できた
 D：特段の事情により計画が達成できなかった
 E：計画した事業を実施できなかった

業務実績評価委員会 委員名簿

(任期 令和2年3月1日～令和4年2月28日)

稲垣 博紀	西濃運輸株式会社 人事部担当取締役
大浦 淳	第一貨物株式会社 東京支店 支店長
亀山祐二郎	岡山県貨物運送株式会社 執行役員 東京主管支店長
苦瀬 博仁	東京海洋大学 名誉教授
甲田 茂樹	独立行政法人労働総合安全衛生研究所 所長代理
小坂 正人	ヤマト運輸株式会社 コーポレート部門 執行役員安全部長
嶋田 康子	日の出運輸企業株式会社 代表取締役会長
永井 裕	株式会社日通総合研究所 代表取締役社長
難波 淳介	全日本運輸産業労働組合連合会 中央執行委員長 当協会参与
野尻紀代美	労働衛生コンサルタント 産業医
原 玲子	日本興運株式会社 代表取締役社長